



日本には昔から独特の色の呼び方がありました。今回は二藍(ふたあい)。紅花で染めた上に藍を重ねて染めた色。若年ほど藍を淡く、壮年ほど紅を淡くするので、使う人の年齢によって様々な表情をもちます。



ニッポン再発見①

木之本地蔵院と豊臣秀頼公

NHK大河ドラマ『軍師 官兵衛』。文字通り、豊臣秀吉の参謀として知られる黒田官兵衛(黒田孝高・黒田如水)が主人公のドラマである。官兵衛に連なる黒田氏の出自がどこかは諸説あるが、近世福岡藩主となった黒田氏の子孫が認めたのが、近江国伊香郡黒田村(現:長浜市木之本町黒田)だ。黒田家の始祖・宗満(宗清)から6代目の高政までが、近江国伊香郡黒田村(長浜市木之本町)に在住していた。官兵衛は9代目で、彼の曾祖父までが黒田村に住んでいたことになる。

また、天正11年(1583)「賤ヶ岳の戦い」に官兵衛は参戦している。秀吉と柴田勝家の間で開かれたこの戦いで、官兵衛は佐久間盛政の猛攻にあうが奮戦し、守り抜いたと伝わっている。

そんなわけで長浜は「黒田官兵衛博覧会」で盛り上がっているが(12月28日まで)、例えばせかく木之本まで出かけたなら、是非、木之本地蔵院を訪れることをおすすめする。

本堂の階段の擬宝珠と、大きな鰐口に、「秀頼公御建立」、「秀頼様建立」の銘が記されているのだ。秀頼は豊臣秀吉と側室淀殿の子、淀殿は浅井長政の長女・茶々である。

慶長3年(1588)に秀吉が死去し秀頼が家督を継ぐ。その2年後の関ヶ原の合戦で、豊臣家家臣である石田三成と徳川家康が争うことになる。

戦いを制した家康は豊臣家の所領を奪い、秀頼は一大名に転落。家康は豊臣家の弱体化を図

ACCESS 滋賀県長浜市木之本町木之本944  
JR北陸本線木ノ本駅下車、徒歩5分。  
北陸自動車道木之本ICから車で3分。

ろうと、秀頼に各地の神社仏閣に寄進をさせ、散財させたといわれている。木之本地蔵院の鰐口と擬宝珠もそのひとつであるという。

織田信長の後継を巡って秀吉と柴田勝家が争った賤ヶ岳の合戦で、秀吉は木之本地蔵院の領地に本陣を置いている。関ヶ原の合戦後の豊臣家と木之本地蔵院……、過去と現在が、曖昧に繋がっている。

文・写真 北原元気



▶「秀頼公御建立」と記されている



▶本堂階段の擬宝珠



協力 みやおえん  
彦根市京町3-3-20 tel.0749-22-0841  
<http://www.miyaoen.co.jp/>

4種類ブレンドし、煎茶だけでも14種類の銘柄があり、異なった風味に仕上げている。このブレンドする作業を「合組(ごうぐみ)」という。合組によって甘味・渋味・苦味のバランスを整え、茶葉の良さを引き出すのだが、茶葉は、産地や農家、畑の日当たりはもちろんな年によっても味が異なる。この微妙な差を、手触りや香りなどから見極め、長年の経験と勘に基づいて配合する。茶葉を選び抜く確かな目と伝統の合組によって、長年親しまれた「みやおえんのお茶」の味が今日まで守り継がれている。

伝統  
老舗の手技

みやおえんの創業は明治5年(1872)。元々彦根藩士で井伊家に仕えていた初代が、明治維新の後、お茶の販売を手がけるようになったのはじまりだ。以来、「天然自然のお茶」にこだわり、近江の優れた原茶を厳選し自社の製茶工場加工。お茶本来の味と豊かな香りのある近江茶を販売している。

# 物事の有限性

## ～東日本大震災から3年半～

菅原 裕典

(株)清月記 代表取締役

×

木川 英樹

(株)公益社 代表取締役

東日本大震災。この地震と津波によって犠牲になられた方々に鎮魂と追悼の誠を御霊に捧げます。そして、今なお復興に向けて努力されている方々に敬意を表します。これほどの命が教えてくれたことを私たちは、未来の命へと紡いでいなければならない。



写真提供:仙台市



▶(株)公益社 木川英樹(きがわひでき)



▶震災直後、現地に向けて公益社営業本部にて大型トラックに緊急災害備蓄品を積みこむ。棺や仏衣、納体袋などを拠出するとともに被災地に寝台型霊柩車と社員を交代で派遣。

**菅原**●震災直後から、木川社長をはじめ公益社の社員の方々に遠方からすぐに駆けつけてもらい、長期間にわたり様々な支援をいただきました。また、JETOみやぎの活動にも賛同、継続的な支援をいただき心から感謝申し上げます。

**木川**●とにかく私共に出来ることをさせていたがきたいとの思いでした。震災直後に寝台車を走らせたが、あの時は、どうやって辿り着いたのか…。到着するやいなや、菅原社長の姿に敬服しました。自社の会館も被災されたにもかかわらず、宮城県葬祭業協同組合・仙台地域葬儀会館連絡協議会の震災対策本部長として、瞬時に的確な指示を出され、現場を指揮。トップのあるべき姿を学ばせていただきました。

**菅原**●3年以内に約90%の確率で宮城県沖地震が起こる事は東北で暮らす人なら誰もが知っていました。もしもの時に自分の会社をどうすべきか？私共も危機管理の対策を練っていましたが、誰もが経験したことがない事態。不眠不休で取り組んでも間に合わない状況でしたから、全国の仲間が駆けつけてくれたことは本当に心強く有り難いものでした。

**木川**●私も、ご遺体の収容や身元確認のお手伝いに従事させていただきましたが…。とにかく、あの時は「一番、水が欲しかった!」ご遺族に対面したく前に、少しでもお顔を拭いて差し上げたかった。

**菅原**●ガーゼに含ませる僅かな水が欲しい。皆が、その思いでした。いかに尊厳を守りつつお見送りをするかという時間との格闘でした。

**木川**●当時、私どもに出来る限りの支援をさせていただいたつもりでしたが、現場で指揮を執り続けられた菅原社長や社員の皆様は、私達が想像もつかない任務を請け負われたと聞きました。

## いま、振り返ると「凄絶」「苦渋」「葛藤」の日々



▶仮埋葬。棺が並べられたあと、土がかけられ、あとは番号が書かれた立て札が認識票となる。

**菅原**●はい。地元での火葬が遅々として進まず、土葬をせざるを得ないという行政判断。石巻市から、約千体のご遺体を「仮埋葬」という任務を請け負いました。その後、ご遺族から当然のことですが、「せめて、きちんと火葬をしてやりたい」という強いご要望があり、引き続き、石巻市

内の700体のご遺体を2011年5月から3ヵ月半かけて掘り起こし、茶毘に付しました。咽るような暑さの中、仮埋葬したご遺体を掘りおこす凄絶な仕事。毎朝6時、社員を送り出さなければいけない私もこの時ばかりは社員を守りきれぬか悩みました。しかし、その厳しく辛い仕事を社員一人ひとりが、心の中で、もがきながらも強い使命感で完遂してくれました。

**木川**●たとえどんな困難な状況になったとしても逃げださず、葬祭業者としての役割を果たされたことを同業者としても誇りに思います。私は、日頃から企業力は人間力だと言っていますが、正に人間力そのものです。

**菅原**●その通りです。企業力は社員力です。今回の難事を乗り越えられたのは、社員ひとりひとりの力。支えられたのは私の方です。



▶(株)清月記 菅原裕典(すがわらひろのり)氏

### ■菅原氏プロフィール

1960年仙台市生まれ。東北学院大卒。/1985年すがわら葬儀社を父と創業。/2010年株式会社清月記に社名変更。/仙台市内を中心に葬祭会館「清月記」17ヶ所と、ファミリーブランドの会館2ヶ所、ぶつだんギャラリー-清月記4店舗を展開。/2011年坂本光司(著)「日本でいちばん大切にしたい会社3」に掲載される。/2011年東日本大震災の際には、宮城県葬祭業協同組合および仙台地域葬儀会館連絡協議会の震災対策本部長として現場を指揮。/NPO法人 JETOみやぎを立上げ、理事長を務める。/著書:東日本大震災「葬送の記」(PHP研究所)



▶大津波の被害が甚大だった名取市閑上(ゆりあげ)地区沿岸部。清月記の社員から当時の説明を受ける公益社・公会会メンバー。

## 風化させてはいけない!

木川●あれから間もなく3年半が経とうとしています。今回、訪問させていただいた理由は、記憶にしっかりと留めなければいけないという気持ちに駆り立てられたからです。被害が甚大だった名取市の閑上地区や若林区の荒浜地



▶公益社は、「JETOみやぎ」の活動に設立時より賛同。当社代表はもとより社員会からも定期的に寄付を続けています。各会館に募金箱を設置し皆様にご協力をお願いしておりますが、人形供養祭にお供え下さいましたご芳志も支援金として送らせていただいております。

区、石巻市を訪ねてきました。震災直後に私が目にした光景とは変わり、草だけが生える更地になっていました。僅かに残る住宅の基礎の上に子供の玩具が供えられ…。多くの人々の暮らしがここにあったのだと、合掌せずにはいられませんでした。

菅原●お参りいただきありがとうございます。

木川●菅原社長が言われたように、こちらで案内をしてくれた方全員が、訪れる者に不満を口にせず、開口一番「感謝します」と言われハッとしました。常日頃、社員や会報誌(※1)でも話していることですが、人は普段何気なく生活していると、物事の有限性を考えない。ボタンを押せば、あたり前のように電気がつき水が出る。少しでも不足すれば不満を抱く。こんな言葉を遺された女性がいます。

「明日が来ることは奇跡です。それを知っているだけで、日常は幸せなことだらけで溢れています。」  
現在、あたり前であることに感謝して、個々が果たすべきことをしっかり考え、前に進まなければいけないと改めて実感しました。



▶仙台市若林区荒浜地区・慰霊碑にて献花



▶(株)清月記総本社にて協力を誓い合う両社長

えません。「見えない被災地の人の心の復興」が必要です。この先、自分の街は?仕事はどうなる?再びこの地で生活が出来るのか?そんな未来への不安を解消する為には、官民一体となった具体的な対策が必要なのです!悲惨な経験を乗り越え、それを大きなチャンスととらえるしかない!もっと大きな視点で未来を考え、新しい故郷づくりを目指すことが重要だと各方面に訴え、実際に取組んでいます。

木川●これほどの命が教えてくれたことを風化させず、次代の命へと紡いでいくことが、今を生きる私たちの役割。私共、公益社は東日本大震災被災地の皆様の「真の復興」を見守り、今後も支援していきます。勿論、私共の故郷でも地域の皆様のお役に立てるようにしっかり寄り添い、歩んで参ります。

菅原●清月記も未来を見据え、更に体質強化を図り、病院で言えば町医者のような存在を目指し努めていきます。お互いに頑張りましょう。本日は、遠方から訪ねてくれてありがとうございます。

木川●こちらこそ、貴重なお話をいただき感謝申し上げます。

## 私たちの果たすべき役割とは?

菅原●海沿いの町を安全な高台に移転し、嵩上工事も始まり「見える復興」は進んでいます。が、「点」ばかりの復興では、「真の復興」とは言

※1) アイリスクラブ会報誌「虹」のバックナンバーは(株)公益社のHPからご覧いただけます。  
<http://www.shiga-koekisha.co.jp/>



▶「特定非営利活動法人JETOみやぎ」は2011年5月に(株)清月記の菅原社長を発起人に東日本大震災で両親を失った「震災孤児」の支援プロジェクトとして設立。「全国から多数のご寄付に支えられ、子どもたちが成人する迄、おひとりに年額10万円ずつ生活・教育支援給付金をお贈りしています。3期目2013年度も、76名の子どもたちにお渡しすることが出来ました。」と、菅原社長より報告をいただきました。

## JETOみやぎへ寄せられた子どもたちからのメッセージ ～応援してくれる方々へ伝えたいこと～

♥応援してくれる人たちのおかげで今があり、大学に通えています。このような支援がなかったら進学もできていたかわかりません。そのことをいつも頭に入れながら生活しています。たくさんの方々の期待や応援にこたえられるように精一杯頑張りますので、これからもよろしくお祈りします。(19歳・Rくん)

♥将来の夢は、消防士です。今頑張っていることは、部活と駅伝です。(14歳・Wくん)

♥いつもありがとうございます。私は、みなさんのおかげで、毎日楽しく過ごせています。機会があれば、こっちに来てください。これからも色々よろしくお祈りします。(12歳・まなみさん)

## 木川社長の被災地訪問に併せて、公益社の取引先で構成する 公友会も訪仙いたしました。

今回の訪仙にあわせて東日本大震災直後、木川社長の呼びかけで、支援活動に従事させていただいた私達(公友会)も被害が甚大だった宮城県沿岸部や多くの児童が犠牲となった石巻市立大川小学校にお参りをさせていただきました。沿岸部の瓦礫は撤去され復興は進んでいますが、電柱も水道も無い更地。インフラ整備が全くされていない現状。被災地から遠く離れて暮らす私達にとって、



▶菅原社長の報告を熱心に聞く一同

あたり前にあるモノが此処にはありません。それでも、バケツで水を運

び、慰霊碑の清掃を続ける地元の学生達やご遺族、風化させずに震災の学びを伝え続けたいと頑張るボランティアの方々に出逢い、あらためて、命と感謝する心の大切さを学びました。

また、「特定非営利活動法人JETOみやぎ」の事務局である(株)清月記総本社を訪問させていただき、菅原理事長より2013年度の活動と震災孤児の現況について報告をいただきました。最年少の震災孤児は、今年5歳。今後、「息の長い支援」が必要であること。また、金銭的な支援だけではなく心のケアも含めた将来へのプラン立て等、様々なサポート活動がされていることを知りました。JETOみやぎ活動報告に続き、現在、



▶公友会より「特定非営利活動法人JETOみやぎ」へ寄付の贈呈をさせていただきました。

(株)清月記が震災を乗り越え、「理念を共有した社員の力で取り組まれている会社づくり&新しい葬儀のカたち」について、菅原社長にご講演いただきました。参加した公友会メンバー全員の顔が上がり、「もっと、しっかり支援をしていかなければ!」「ひとりひとりが果たすべき役割とは何か!」各々が地域に会社に戻り、公益社と共に何をすべきかを真剣に考える機会を得、前を向いて歩む決意を固めた被災地訪問となりました。

## 公益社のエコ活動 美知メセナ

昨年秋から冬、そして今年の春には見事復活したパンジーとビオラもその役目を終え、夏に向かってトレニアと日々草に植え替えをしました。夏の間咲き続けるかわいらしい花として人気の花です。早朝の植え替え作業では、道行く方々と気持ちよくあいさつを交わし、また、「いつもありがとう」と激励をいただいたり、気持ちのいい作業となりました。照りつける太陽の下、可憐な花をつけ一生懸命咲く姿は私たち、そして道行く人たちを元気づけてくれます。恒例の一斉清掃に加え、こまめな除草&毎日の水やりも欠かすことなく、暑い夏を草花とともに元気にがんばります。



EMS71576/ISO14001:2004  
環境マネジメントシステム  
ISO14001 認証取得

### iris club Activity report 1

## 終活セミナー開催

平成26年5月27日(火)  
近江八幡公会館



### iris club Activity report 2

## 葬祭フェア開催

平成26年6月29日(日)  
メモリアルプラザ公会館

当日は前夜の雨もあがり夏の青空が広がる絶好のお天気に恵まれました。今回の葬祭フェアは2年ぶりの「人形法要」を近江八幡市、浄土宗西願寺の金森昭恵住職をご導師にお迎えし、大切なお人形約5,000体が供養祭壇に安置され、法要がしめやかに行われました。法要後は、琵琶説教師でもある同住職が筑前琵琶を奏でながら、「耳なし芳一」をお話くださいました。琵琶の繊細な音色の中、立体的に繰り広げられ

今回のセミナーは「葬儀事前準備の必要性」と題して葬儀の意味をはじめ、事前相談、家族葬についてのお話を経験談を交えながら進めさせていただきました。お葬式の司会進行とは違い、お客様にお伝えするという[講師]の立場での緊張の中、みなさまが真剣な眼差しで聞いてくださり、時間を忘れるほど自然と熱が入り、予定時刻をオーバーしてしまうほど。最後まで熱心にお聞きいただき、「身近な例でのお話で分かりやすかった」「親しみのあるお話でとても勉強になりました」などみなさんからうれしいお声をいただきました。

葬祭部 深尾



る情景を思い浮かべる幻想的な時間となりました。「縁」という日本人ならではの「人と人とのつながり」のお話に感銘し、みなさまとともに充実した時間を過ごすことができました。

葬祭部 川口

### iris club Activity report 3

## 終活セミナー開催

平成26年7月23日(水)  
八日市公会館

今回はじめて「講師」を務めさせていただきました。

「わかりやすく、みなさまへの情報発信をどのようにしようか、参加者の為になるような内容とは」と考えたところ、お葬式のお手伝いをさせていただいている部分を強みに実例や地域の慣習等についてのお話をさせていただきました。

改めて、相手に想いを伝えることの難しさを

痛感しました。

今後、この経験を生かし、喪家様や参列者様のみなさまに更にやさしい葬儀のサポートをさせていただきます。

葬祭部 堀内



# 終活 ～エンディング・ノート～ ②

今回は記載内容について一緒にみていくことにします。

「人間は忘れる生き物です」。ドイツの心理学者ヘルマン・エビングハウスの言葉です。彼の説(忘却曲線)によりますと、人間は記憶したことを20分後には42%、1時間後には56%を忘れてしまうのだそうです。折角始めた「終活」も、「忘れる」といけませんので、「エンディング・ノート」に記録することが、終活を実りあるものにするために重要となるわけです。「エンディング・ノート」に記載した事柄は、普段忘れていても、ノートを開くたびに思い出すこととなりますね。それだけでご自身もご家族様も助かることが多く有るように思います。

さて、ノートの記載方法です。とくに順序や決まり事はなく、形式は問われません。そういうとかえって戸惑いますよね。まずは、思いつくところから「忘れないうちに」「自分の歴史(自分史)」から書きはじめてみるとスムーズにエンディング・ノートの船旅が出港できるように思います。

最初に、家族みんなの記憶に残るよう、自分のことを書くことから始めてみてください。名前、生年月日、本籍、出生地さらには、出身校や卒業年、職歴など、項目にしばられることなく「自分」を知ってもらえるだけの情報を記載しておくといでしょう。また身分証明書(パスポートや健康保険証)

の番号を控えたり、写真をとって貼り付けておくだけでも、自分自身の整理にもなりますし、何より家族が困らないようにできますね。税理士の立場から言いますと、家族関係図も記載してもらおうと、贈与や相続対策を検討するうえで大変有用なノートになるので勧奨しています。

その次は、懐かしい思い出のご記入がよいのではないのでしょうか。誕生から学生時代、社会人時代、家族・友人との旅行など、楽しかったこと、悲しくつらかったことなどをエピソードを交えて記載してみましょう。何十年ぶりに発見することや、その当時打ち込んでいたことが一瞬のうちに蘇ってくると思います。過去の日々を振り返るなかで、お友達との交友を思い出し、皆で集う計画に発展するケースも多いと聞きます。エンディング・ノートは社会との関わりを持ち続ける、或いは社会に再度参加するきっかけも与えてくれます。

さらに、家族への想いを伝えるメッセージ(=ご家族へのラブレターや感謝状)としても活用されています。ご家族に対する想いを面と向かって言うことは恥ずかしいものですが、言葉でしか伝わらないこともありますね。勇気を出して、ありったけの感謝を記してみましょう。とても幸せな気持ちになりますよ。

また、エンディング・ノートは自分の考えをメッセージとして記載する機会を提供してくれるもの

でもあります。例えば、終末期医療や介護は通常、家族が処置の判断することも多く、ノートでご本人の希望が確認できたならば、家族は困らず迷いなく重要な判断をすることができます。ある意味大変意義のある活用方法だと言えますね。もしも例えば、認知症になったときはこうしてほしい、お金は〇〇にまかせるからよろしくね、重病告知を受けたときはどんな治療を希望するのか、痛い・苦しい治療方法は避けてほしいなどのメッセージです。

最後は葬儀の生前予約です。人生最後に自分の生きた証として、自分らしい葬儀にしたいご希望があると思います。自分の想いを実現するには葬儀の生前予約がお勧めです。もちろん費用も重要ですね。葬祭業者さんの住所や連絡先・ご担当者、おおまかな申込の内容、費用、契約書の保管場所など記載しておくくと便利です。ご家族は迷わずご本人の想いを叶えたいうで、お別れができますね。また、会葬者の皆さんに最後に聞いてもらうメッセージを記載しておくのもよいでしょう。

エンディング・ノート作成の航海はまだ続きます。次回はお葬儀や遺言、財産管理、相続後の名義変更などのテーマでお届けします。



たい たかゆき  
田井 尊之  
大辻税理士法人  
パートナー税理士

## お役に立とう! 社内勉強会 救命救急講習会

平成26年5月17日(土) メモリアルプラザ公益会館

救命救急の基本知識を身につけるため、彦根市消防本部救命救急士の方を会館にお招きし、AEDの使い方や心肺蘇生の訓練を行いました。

当初、出来るのだろうかと戸惑いながら参加しましたが、AEDは誰でも操作できることを知り、緊急事態に遭遇したときに慌てず、「自分ができることを行う」重要性を実感しました。

今回は、AED操作や胸骨圧迫法、熱中症対応などの応急手当を学びましたが、今後もお客様のお役に立ち、寄り添わせていただけるようスタッフ一同、日々努めていきます。



## 社内研修 ドライバー安全運転講習会

平成26年5月27日(火) 運輸事業部敷地内

日常的に業務車両を運行している私たちにとって無事故無違反は永遠の課題です。狭い道を通ったり、玄関先まで車両の乗り入れをさせていただく場合もあり、社内で運転業務に携わる社員を対象に運転実技講習会を行いました。運輸事業部の敷地内にて、障害物の間を通過、折り返しはバックで走行、正確に規定時間内で駐車スペースへ停止して完了です。自分では気付かなかった苦手な部分を把握し、克服するためにたいへん有意義な講習でした。お客様により良い安全、安心を提供する大切な業務のひとつとして積極的に全員参加で受講できました。



### アイリスクロス 提携店ご案内

会員のみなさまの暮らしに役立つお店を紹介するコーナーです。詳しくは各店にお問い合わせください。

会員  
特典

■整備工賃から15%割引  
■板金工賃から10%割引

★車両・車検をご紹介いただいた方に特典あり



創業52年の実績と信頼の車屋です。～新車・未使用車・中古車・カー用品の販売、車検・整備・板金・塗装など、お客様のカーライフをトータルサポートいたします～

#### エムランド(自動車整備)

〒522-0055 彦根市野瀬町178-1  
tel.0749-24-7989

会員  
特典

お買上金額から5%割引  
スタンプカード捺印



近江銘茶専門店として、お客様本位の商品提供を心がけております。縁あって会員様には、日頃より愛顧頂ける様、滋賀県産茶葉の吟味仕入と加工による充実した商品に加え、上記サービスもご利用ください。

#### 武久商店

〒527-0013 東近江市東中野町4-18  
tel.0748-22-0387

会員  
特典

ご来店お食事から5%割引



元祖稲枝もちもちうどんは、地元の滋賀羽二重もち米の粉を生地に練り込み、なめらかなのどごしと、もちもちとした独特のこし、そして微かに感じるおもちの香りが特徴です。唯一無二のもちもちうどんを是非ともご賞味くださいませ。

#### うどん・そば処 湖畔湖岸店

〒521-1134 彦根市田附町2034-29  
tel.0749-43-6918

## FLOWER GARDEN IRIS から

まだまだ残暑厳しいですが、少しずつ秋の気配が感じられるこの頃。あちこちのお庭にも、秋の花が見られます。その中に「秋の七草」が、いくつかあるのをご存じですか？

意外と知られていない秋の七草。万葉集に出てくる「秋の七草」は、春とは違い「秋の野に咲く花」を意味します。萩・ススキ・葛・なでしこ・女郎花・フジバカマ・桔梗、この秋は、お近くの「秋の七草」を見つけてみませんか？



### 秋のお花言葉

桔梗 ✨ 誠実・変わらぬ愛  
フジバカマ ✨ ためらい  
女郎花 ✨ 親切・心づくし・美しさ  
なでしこ ✨ 純愛・無邪気  
萩 ✨ 想い・思案

おかげさまで10周年  
“Thanks キャンペーン” 実施中!!

### 9月15日(日) 敬老の日

敬老の日商品(花束・アレンジetc)お買い上げのお客様に敬老の日用ピックアッププレゼント!

いつもお世話になっている、おじいちゃん・おばあちゃんに、ちょっと照れくさいけどお花で「いつまでも元気でいてね」と伝えませんか？

### 9月19日(金)～21日(日) 10周年大感謝祭

お得がいっぱい! 10周年大感謝祭 開催します!!  
詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

### 9月22日(月)～26日(金) 秋のお彼岸

期間中、お彼岸商品(仏花・お墓花・お供えアレンジ)  
¥3,900(サンキュー価格)以上お買い上げのお客様にお香プレゼント!

太陽が真東から昇り、真西に沈む 春分・秋分の日、極楽浄土である「彼岸」と私たちの「現世」が最も近づく時期といわれています。この時期を「お彼岸」と呼び、昔からお墓参りが習慣とされてきました。ご先祖様を敬い、亡き人を偲ぶ お彼岸。お墓参りは亡き人に想いをはせる、大切な習慣なのです。



IRIS

彦根市小泉町696番地8  
tel.0749-26-8783  
flower-garden-iris fax.0749-26-4141

## アイリス広場

Q & A

- Q 家族葬の定義について解説してください。(東近江市 F 様)  
家族葬の詳しい内容の例がありましたら教えてください。(東近江市 M 様)
- A ウィキペディア(フリー百科事典)では、「家族葬とは家族などの近親者だけで行い、近親者以外の儀礼的・社交辞令的な弔問客の参列を拒否する葬式のこと」とされています。公益社でも近年家族葬でと言われる方がたくさんいらっしゃいます。費用を低く抑えるだけではなく、それぞれにご家族の想いや故人のお人柄を偲ぶお葬式のあり方など、様々な内容でお応えしております。

## みなさまのおたよりから

- ☝ 終活セミナーを土・日曜日に開催していただきたい。(彦根市 Y 様)  
田井先生のお話さいてみたいと思いました。エンディングノートを書いてみたい。父母にも書いてほしいと思っています。(彦根市 S 様 他多数)
- 終活セミナーはいつも好評でたくさんお問合せいただいております。みなさまの関心の深さを感じております。
- ☝ 日帰りバスツアー、延期になったとの事ですが楽しみにしておりますので、よろしくをお願いします。(彦根市 I 様)  
日帰りバスツアーは、カレンダーに書き込んで楽しみにしていたので延期は残念。(彦根市 T 様 他多数)
- 延期となり大変申し訳ありません。秋のバスツアーとして同封案内にて楽しい企画となっております。ご参加お待ちしております。
- ☝ 年末にお正月のお花の予約がありますが、受取りが各公益社で出来たら…と思いますが。(東近江市 K 様)
- 貴重なご意見ありがとうございます。ぜひ前向きに、検討させていただきます。

### 事務局より

まだまだ暑い日は続きますが、時折感じる風に秋の気配を感じます。これからは秋のさわやかな季節。スタッフ一同、魅力ある紙面づくりを目指します。どうぞよろしくお願いします。

\* アイリスクラブ通信「虹」保存用ファイルご希望の方は事務局(0120-333-838)までご連絡ください。

## ご愛読者プレゼント

抽選で  
10  
名様に



「老舗の手技」でご紹介した  
みやおえん様の  
「お茶とお菓子の詰め合せ」

- ・煎茶 古城 120g
- ・煎茶 極上朝宮 120g
- ・お菓子 抹茶の里

### 会員のみなさまに

日頃の感謝の気持ちを込めて

- 同封の応募ハガキのアンケートにお答えのうえ、必要事項を記入しご応募ください。
- 当選された方にはプレゼントお渡し日・場所をご連絡させていただきます。と共、次号にて発表させていただきます。

応募締切 平成26年9月20日(土)必着

### vol.50「小あゆ煮詰合せ」ご当選者

■彦根市/田井中純作様・三谷ちよ江様・高畑光成様・島野光史様・藤川和子様 ■東近江市/村上直昭様・門野江津子様・小椋常夫様・塚本明様 ■米原市/能政紀全様

公益社は、24時間365日いつでも対応いたします

株式会社 公益社 本社：〒522-0054 滋賀県彦根市西今町939番地  
TEL.0749(22)5000(代) FAX.0749(22)0042

ご葬儀のご相談・ご依頼・資料のご請求は

0120-61-4000